

山形大学学生と県議会議員との意見交換会結果報告

| | |
|---------|---|
| 開催日 | 令和4年9月2日（金） |
| 開催場所 | 山形大学（山形市） |
| 出席議員 | 加賀正和、伊藤重成、青柳安展、五十嵐智洋、今野美奈子 |
| 参加者 | 人文社会科学部学生 10名 |
| 意見交換の概要 | <p>「コロナ禍後の観光業のあり方」、「豪雨などの災害対策の現状と今後」、「県立図書館の「今」と「これから」」をテーマに意見交換を行った。</p> <p>【意見の主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ禍後の観光業のあり方について コロナ禍においては入国時の手続きに時間がかかるなど、対応に不安が残った。このような対応では入国時の不十分な待遇を懸念し、インバウンド客が減少する恐れがある。再流行を想定して事前の対策が必要ではないか。・豪雨などの災害対策の現状と今後について 近年の異常気象の増加に伴い、日本中で豪雨災害が発生している。山形県でも今年8月の豪雨で大きな被害が出た。2020年7月にも最上川の氾濫が発生しており、豪雨や河川の氾濫への対策が必要不可欠である。また、都市部においては、十分な排水能力の確保や事前の冠水箇所の予測が重要である。・県立図書館の「今」と「これから」について 子供たちの読書の機会や教育格差の是正のために、公立図書館は意義のある場所である。若者に本に触れてもらう機会を増やすため、図書館にカフェを併設したり、町なかのお店などに図書コーナーを分散して設置することで、町全体が一つの図書館になるような取組みもよいと思う。 |